

石島会計メモ



中央区日本橋本石町 4-5-12
友泉本石町ビル 3階
石島公認会計士事務所
(03)3275-1311
発行責任者 石島慎二郎

2025年1月号



新年おめでとうございます。

『石島会計メモ』は今年で 14 年目に突入します。紙面の軽さとは対照的に、積みあげることの重みを感じてきます。今後も良い作品を続けられるよう努めてまいりますので、記事に関してご要望・ご意見あればぜひお寄せ下さい。本年もどうぞよろしくお願い致します。 石島公認会計士事務所 一同

壁が動く？ 令和7年度税制改正大綱

「103万円の壁」とは??

パートやアルバイトなどで受け取る給与が年間103万円以下の場合、所得税がかかりません。給与から給与所得控除（55万円）と基礎控除（48万円）を差し引くと、所得0円となり所得税が課税されないのです。

また、配偶者や子がこの「103万円以内」で給与収入を抑えると、世帯主が配偶者控除、扶養控除などの税金面での優遇が受けられます。逆に、「103万円を超えると損するのでは？」と意識され、「103万円の壁」と言われているのです。



壁の金額が改正される見込み

少子高齢化などにより労働力不足が著しい中、「103万円の壁」を気にして働き方を制限されてしまうのは社会にとってマイナスとなります。そこで、今回の改正でこの壁を動かそうということになったわけです。

結果として、従来103万円だった壁が「**123万円の壁**」になることが見込まれます。給与所得控除が55万円→65万円、基礎控除が48万円→58万円とそれぞれ10万円ずつ引き上げられ（計20万円増額）、給与収入が123万円あっても、2つの控除で所得0円となり課税されなくなります。そして、この金額に抑えれば、配偶者控除も扶養控除も受けられるようになります。

学生等はさらに優遇

新たな控除制度として特定親族特別控除（仮称）が導入されることも織り込まれています。



19歳以上23歳未満の親族等に関しては、給与収入が**150万円まで**であれば満額63万円の控除を受けることができます。従来は親族等の収入が103万円を超えると扶養控除の額が0円になってしまいましたが、今後は150万円までは満額の控除が受けられますし、控除額が段階的に縮小はされていくものの、188万円までであれば最低3万円の控除は受けられることとなります。

特に大学生等世代の子の人手増加を期待してということでしょうが、新制度で優遇の拡充がされるということです。

他の壁にも注意

これまでの内容は所得税の話です。同様に、住民税でも「100万円の壁」なるものがあります。住んでいる自治体等によって異なるため、厳密には100万円ぴったりではありませんが、100万円前後で税金が課税されるかどうか変わってきます。この住民税の壁も今回の改正で修正される（増額される）見込みですが、所得税と細かな違いがありますので詳細は今後の発表が待たれます。

また、社会保険でも「106万円の壁」「130万円の壁」なるものがあります。社会保険上の扶養に入れるかどうかという収入の境目ですが、税金とはまた別に判定されるので、これらの壁が今後どうなるかも気になるところです。



影響は多岐にわたる

さらに、収入金額は様々な助成制度も関係してくるため、「世帯的に一番得な収入はいくらか」という問題は、所得税のみならずこれらを総合的に考えなければならないので、まったく単純ではないのです。

今回ご説明した税制改正はまだ案の段階であり今後の審議で修正されていく可能性もあります。いくつもの壁があるので最終的にどうなるのか見守る必要があります。給与収入がある、または給与収入のある配偶者や子がいる方は、今後の動向に注目していきましょう。

（文章 石島慎二郎）

「ありがとう」のマジック

文章 石島洋一

暮れの神宮でお札を…

私は毎年暮れに船橋大神宮に正月飾り（お札など）を授かりに行きます。今回は、出発が夕方になってしまい、電車に乗って、いきなり「しまった」と気がつきました。賽銭用の小銭を持ってくるのを忘れたのです。嫌な予感がしました。

予感的中、神社のお札の授与所へ行ったのですが、何か様子がおかしい。授与所の戸がしまっているのです。こちらも「閉まった」でした。

そばに居た巫女さんに聞きました。

「正月のお札が欲しいのですが…」

「今日はもう時間でしまっていると思いますよ」

「そうなのですか。他で求められる場所はありますか？」

親切にもその巫女さんは、もう一度授与所を確認してくれたが、やはりもう閉まっている。

「だめですね、やっぱり」と言っているところに、授与所担当の若い男性神職さんが通りかかり、その巫女さんが声を掛けてくれた。

「××さん、新年のお札を希望されているのですが、授与所はもうしまっているし、ダメですよ？」

「いいですよ」

意外な答えだった。巫女さんは「ダメ」という先入観念があったからか「そうですよね」と真逆に捉えた様子だった。私は一瞬「？」状態だったが、すかさず「ありがとうございます」と大きな声で言った。

若い男性神職の本意がどっちだったかは今では確認しようがないが、私の「ありがとう」がその場の方向性を決めたように思う。ポジティブな言葉の響きが「ありがとう」にはある。それを聞いて「ダメです」とは言い返さないだろう。そんな計算をしたわけでは無いが、言葉を発してから、お札をもらえることを確信していました。

若い神職さんは、閉めた授与所の鍵をあけ、お札を私に渡ししながら「どうぞよい年をお迎えください」と言ってくれました。心から発する言葉のように聞こえた。私も「本当にありがとうございます」と気持ちよく言えた。お札の代金のおつりがあった。もちろんすべて賽銭箱に入れました。



カッとしたら「ありがとう」

「ありがとう」という言葉は何度言っても良いそうで、「マジックフレーズ」と呼ばれています。言われた方も悪い気はしないでしょうし、言った方はもともと感謝しているのですから、自分の気持ちを明るく発したことで良い雰囲気となるのでしょう。

職場での意見の違いや夫婦の喧嘩の時などでも、言い返す前に「ありがとう」の言葉で一拍おいて、その後に話しをすると良いのです。「ありがとう」と言ったことで感謝すべきことを見つけられるかもしれないし、感謝の理由が無い場合でも、とにかく「ありがとう」と言うと気が落ち着きます。相手の言葉にカッとしたら、まず「ありがとう」です。「ありがとう」はよく効く薬です。副作用もありません。

席を譲られた時のありがとう

最近、電車の中で席を譲られることが多くなりました。本人は元気なつもりでいるのですが、明らかに見た目は「年寄り」なのでしょう。

先日も、電車に乗り込むとすぐに、外国人に席を譲られました。外国人に席を譲ってもらうのは初めての経験で、なんと行って良いかもわからず、「Thank you」とだけ言って、座らせていただきました。

その外国人は旅行中のようで、仲間と何やら話している。自国語で話しているが何語かわからない。私は降りる時に、何語でお礼を言ったら良いのだろうと考えました。もっとも出来るのはカタコトの英語だけなので迷いようが無いのですが、問題は大量の人前で英語を発せられるかどうかです。

しばらくすると、私が降りる駅になりました。ただ会釈して降りれば良いか、でもそれでは感謝の気持ちが十分に伝わらない…。私は意を決し、英語で話すことにしました。

「Thank you so much for your kindness. Have a nice day !」

精一杯の英語でした。その外国人も二度にわたり発した私の「Thank you」に、感謝の気持ちを込めてでしょう、言ってくれたのです。

『アリガトウ』

日本語をわかっていたのかもしれない…。私は思わずおかしくなりました。いずれにせよ、その「アリガトウ」を思い出すと、明るい気持ちになれたのは確かでした。この一年、多くの「ありがとう」を言い、そして言われたいものだと思います。

(石島公認会計士事務所 会長)

